



7月15日、天王祭が開催された安楽島町で、40年ぶりにサッパ船漕ぎ競漕大会が復活しました。

大会へ向け修理されたサッパ船2隻を使い、町内から出場の8チームが熱戦を繰り広げ、「ごんじ」チームが5分5秒で優勝しました。

会場には、約500人の町民が熱戦に声援を送り、盛り上がっていました。

地域の活性化に向け



7月7日、かもめ幼稚園で夏のお楽しみ会が開催されました。こどもたちの大好きな絵本の世界が楽しめるようにと今年「こびとづかん」をテーマに保護者が1か月前から企画や準備をしてきました。

園内には森の中の冒険やこびとつり、こびとにシュートなどのさまざまな遊びが用意されました。園児らは、まるで自分が絵本の中に入っているかのようにこびとを探しながら遊び、最後に保護者や職員が演じるこびととともに、テーマ曲に合わせて踊りを楽しみました。

絵本の世界



大町市・鳥羽市災害時相互応援協定締結式

市と長野県大町市は7月4日、大地震などの大規模災害時に、復旧活動を相互に応援、協力する災害時相互応援協定を締結しました。

遠く離れた両市が自然災害で同時に被災する可能性が低いことや、これまで海、山の観光都市として物産の販売などで交流を重ねてきたことが今回の協定締結につながりました。

今後は、どちらか一方が自然災害などで被災した場合、被災者の救援、救護をはじめ、食料、飲料水などの物資や資機材の提供、応急復旧活動への職員派遣などについて互いに協力をしていきます。

長野県大町市と災害時応援協定



6月29日、市立安楽島小学校の福祉委員4人が市長室を訪れ、木田市長に東日本大震災の義援金44,784円を寄託しました。

福祉委員は、被災地で今もなお大変な思いをしているかたのために何かできないかと話し合い、5月26日の同小運動会で保護者や地域のかたから募金を募りました。

口々に「少しでも被災者の役に立てればうれしい」と語る児童に、木田市長は「いつまでも、その優しい気持ちを忘れないでください。安楽島小学校のみなさんにもありがとうございますと伝えてください」とお礼を述べました。

安楽島小学校児童が震災義援金